

(9) 伝統的工芸品産業

京都の伝統産業は、京都の歴史・文化に深く根差したものであり、京都は、伝統産業を基幹産業として、「ものづくり都市・京都」にとどまらず、日本の伝統産業の拠点として発展し続けてきた。

しかしながら、生活様式の変化や海外製品の流入などにより、京都の伝統産業は、大変厳しい状況にある。

京都市では、京都の伝統産業を活性化させることにより、日本固有の文化を守り、発展させ、日本全体の伝統産業を活性化させるとともに、京都のまちを豊かな地域社会とし、京都の経済を活性化させることを目指し、平成 17 年 10 月に京都市伝統産業活

性化推進条例を施行した。平成 25 年 4 月現在、京都市の伝統産業として 73 品目が該当する。

また、昭和 49 年 5 月に公布された「伝統的工芸品産業の振興に関する法律（伝産法）」に基づき、平成 25 年 4 月現在、全国で 215 品目が伝統的工芸品として国から指定されている。京都府内では 17 品目が指定され、そのすべてが京都市に存在している。全国伝統的工芸品総覧平成 18 年度版（平成 17 年度数値）によると、京都府の伝統的工芸品の生産については、企業数で 2,814 社（全国に占める京都府の割合 16.7%）、従事者数で 18,069 人（同 18.8%）、年生産額で 1,115 億 70 百万円（同 20.8%）となり、全国首位である。〔表Ⅱ-3-9-1、図Ⅱ-3-9-1〕

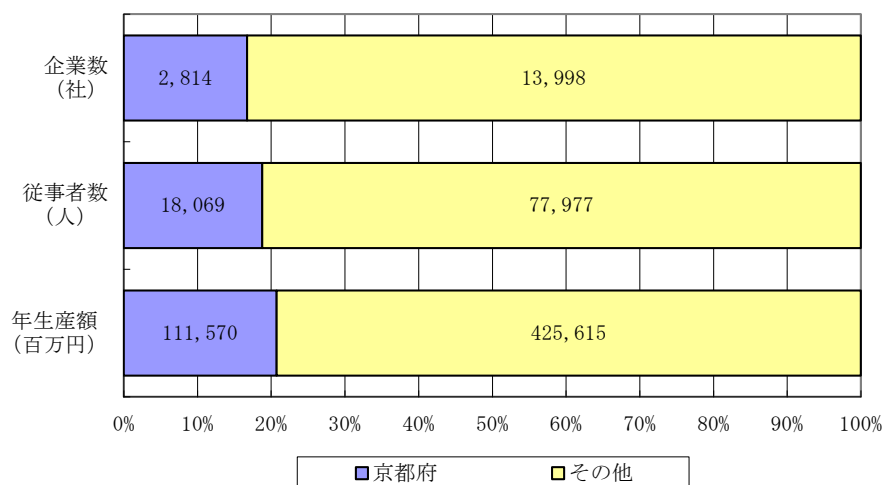
表Ⅱ-3-9-1 伝統的工芸品の品目数、企業数、従事者数、年生産額の
全国に占める京都府の割合

（単位：社、人、百万円、%）

	全 国	京 都 府	構 成 比
企 業 数	16,812	2,814	16.7
従 事 者 数	96,046	18,069	18.8
年 生 産 額	537,185	111,570	20.8

資料：伝統的工芸品産業振興協会「全国伝統的工芸品総覧／平成18年度版」

図Ⅱ-3-9-1 伝統的工芸品の品目数、企業数、従事者数、年生産額の
全国に占める京都府の割合



資料：伝統的工芸品産業振興協会「全国伝統的工芸品総覧／平成18年度版」

なお、一般に「伝統工芸」あるいは「伝統工芸品」と呼ばれるものには明確な定義はない。伝産法では「伝統的工芸品」は、以下の要件で経済産業大臣が指定するものと定められている。

1. 主として日常生活で使われるもの
2. 製造過程の主要部分が手作り
3. 伝統的技術または技法によって製造
4. 伝統的に使用されてきた原材料
5. 一定の地域で産地を形成

◆ 京都市の伝統産業一覧

(平成 25 年 4 月現在 73 品目、網掛け部分は伝統的工芸品 17 品目)

西 陣 織	きょうかのこしぼり 京 鹿 の 子 絞	京 友 禅	京 小 紋	京 く み ひ も
きょうぬい 京 繡	きょうくろもんつきぞめ 京 黒 紋 付 染	きょうふさより 京 房 ひと・撚 ひと	京 仏 壇	京 仏 具
京 漆 器	きょうさしもの 京 指 物	きょうやき きよみずやき 京 焼 ・ 清 水 焼	京 扇 子	京 う ち わ
京 石 工 芸 品	京 人 形	京 表 具	京 陶 人 形	京都の金属工芸品
きょうぞうがん 京 象 嵌	京 刃 物	じんぎしやうぞくちやうどひん 京の神祇装束調度品	京 銘 竹	しきしたんざくわほんちやう 京の色紙短冊和本帖
北 山 丸 太	京 版 画	京 た た み	京 印 章 < 印 刻 >	京 袋 物
京 す だ れ	工 芸 菓 子	京 竹 工 芸	造 園	薫 香
伝 統 建 築	数 珠	額 看 板	菓 子 木 型	か つ ら
金 網 細 工	唐 紙	か る た	き せ る	京 瓦
きょうさなだひも 京 真 田 紐	京 足 袋	京 つ げ ぐ し	きょうつづら 京 葛 籠	京 丸 う ち わ
京 弓	京 和 傘	きりかね 截 金	嵯 峨 面	尺 八
三 味 線	調 べ 緒	茶 筒	ちやうちん 提 燈	念 珠 玉
能 面	花 か ん ざ し	はんぶせい 帆布製カバン	伏 見 人 形	ほうがっきいと 邦 楽 器 絃
矢	ゆいのうかざり みずひきこうげい 結 納 飾 ・ 水 引 工 芸	わ ろ う そ く 燭 和 蠟 燭	京 こ ま	清 酒
京 菓 子	京 漬 物	京 料 理		